

❖別れ…そして出会い❖

気がつけばもうそこまで3月が来ています。

3月といえば卒業式、「ちゃんと本返してね」と現実的にもなりますが、せっかく図書室に馴染んでくれた児童・生徒さんの卒業には感傷的な気分になりますよね。

児童・生徒さんの方とて同じ。とても多感な時期だけに、図書室のお姉さん（お兄さん）の影響力ははかり知れません。

そこで今回はちょっとセンチメンタルな出会いと別れ、青春のストーリーをご紹介します。



◆小林深雪、石川宏千花、河合二湖、如月かずさ、福田隆浩 著 「卒業」
人気シリーズ「泣いちゃいそうだよ」を手掛ける小林深雪をはじめ、5人の作家が卒業をテーマに描いたアンソロジー。

◆ひこ・田中 著 「なりたて中学生 初級編」
中学入学の直前に引っ越したばかりに、まわりに知っている友達はゼロ！ヘタレなりに立ち位置を探り始めたテツオの物語。

◆草野たき 著 「グッドジョブガールズ」
小学校最後の思い出づくりを悪友3人で計画。いままではお互いに干渉しないドライな関係だったけど…。ともだち、親子、先生、人間模様に思わずグッときます。

◆大島真寿美 著 「空はきんいろフレンズ」
転校しても友達でいてね。そんな挨拶をしながら実現しないことを知っていたアリサ。だけどカワリモノで頼りになるニシダくんは違う気がする。ふたりの淡々としたやりとりにジンときます。



◆杉本りえ 著 「明日は海からやってくる」
「おまえがいないと、すごくさみしい」「わたしも、島でるのはさみしい。」「なら、いくなよ」「じゃあ、やめる」こんな中学生の会話ってどうよ?! 離島で自然と向き合って生きる人間の姿が心をゆさぶります。

地域館通信

【榛名図書館】 TEL: 027-374-2212

今年も榛名・倉淵地域小中学校の指導員の皆さんに協力していただき、本を選んでいただきました。日頃子どもたちの本の利用を見つめている指導員さん目線に立った本がそろったと思います。合計45冊を選んでいただきました。そのうちの2冊をご紹介します。



『池上彰さんと学ぶみんなのメディアリテラシー1～3』学研教育出版

子どもたちにとって身近にあるインターネットやスマホ。大人のほうがわからないことのほうが多いかもしれません。情報と正しく付き合うためには何に注意すればいいのかを子供向けに解説しています。初歩から学びたい大人にもおすすめです。

『平和を考える戦争遺産図鑑』岩崎書店

国内のものからアジア諸国のものまで、様々な戦争遺産を紹介しています。

写真が多く載っているのので、子どもたちにも伝わりやすいと思います。



🍀おすすめ本あります🍀 part4

🍀図書館ごよみ&イラスト 1200🍀

全国学校図書館協議会（編）・（出版）

日々の学校図書館運営に活用できる、季節感ある話題や展示・掲示の具体例をカラー写真で掲載しています。

カレンダー感覚で編集されていますので、該当する月のページをめくればイベントから特集のアイデアがひらめきます。

ぜひご一読を！



高崎市立中央図書館 学校連携担当 宮澤・東・天内

TEL:027-322-6767 / FAX:027-324-3423

Mail: toshokan@city.takasaki.lg.jp